

# 瀧波ユカリさんが講演

## 女性協拡大常任委員会

2025年8月24日(日)

に「女性協拡大常任委員会」を両国の労連本部発信で開催し、各地連と本部などあわせて一六人が参加しました。

女性協拡大常任委員会では毎回学習会を行っています。今回は漫画家の瀧波ユカリさんをお招きして、『「女らしさ」「男らしさ」の痛みについて〜伝えるために 今知るべきこと〜』と題してご講演いただきました。瀧波ユカリさんは臨死!!江古田ちゃん」で漫画

家デビューをして、その後ドラマにもなった「モトカレマニア」などたくさん作品を生み出されています。現在は「わたしたちは無痛恋愛がしたい」はフェミニズムとコミュニケーションがテーマの作品です。『女らしさや男らしさにとらわれることなく自分らしく生きるには?』を言い換えると、『私たちを

女らしさ・男らしさの檻の中にとらえているものとは何なのか?』になるとのことですが、この違和感やもやもやは痛みに通じているものだろうで、その正体はなんと「家父長制」でした。家父長制社会が私たちに教え込むことは、男は格上・

女は格下、女は男に従うもの、家族のケアは女の仕事(無報酬)、女は自分のことは後回しにするもの、そうして生きるのが女の幸せ、といったことでした。現在も当たり前すぎて見えにくくなっている家父長制を探してみると、政治や家庭や言葉など聞けば納得するようなことがたくさんありました。この痛みやモヤ

モヤを感じたら言葉にすることが大切だろうで、痛みの原因がわかると矛先を間違えないで済むので、本を読み、知識と説明する力を身につけることが必要とのことでした。

また、メディアは痛みをどう伝えるべきか?についても言及して、家父長制へのフォースが必要であることや、やるなら知的に面

白く、最初は間口を広げてやってみましょうとアドバイスをいただきました。

講演のあとは、各地連から春闘や単組の現状などの報告をいただきました。若手の退職や人手不足、組合員数の減少などは毎回話題になる共通の課題です。ほかにも育休応援手当やF休暇についても意見を交換しました。



多くを学んだ瀧波さんの講演